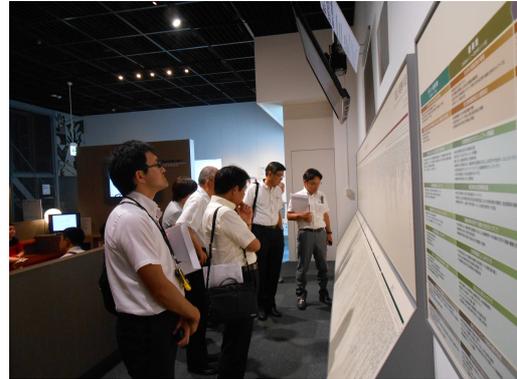


行政調査報告書「市民文教常任委員会」

平成 26 年 7 月 23 日（水）～25 日（金）

■人と防災未来センター『人と防災未来センターについて』

人と防災未来センターは、平成 14 年 4 月に兵庫県が設置し、公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構が運営を行っている。阪神淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通じて、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災社会の実現に貢献することなどを目的とした施設である。「1・17シアター」では地震発生時や直後の様子を映像と振動によって体感でき、館内ではボランティアによる語り部の地震体験の語り継ぎが行われるなど、大震災を経験していない世代にも震災について考えさせることができる施設となっていた。



■広島県広島市『フューチャースクール推進事業及び学びのイノベーション事業について』



広島市立藤の木小学校は、平成 22 年度より、総務省のフューチャースクール推進事業、平成 23 年度に文部科学省の学びのイノベーション事業の調査研究協力校として委嘱された。全児童にタブレットパソコン、全教室に電子黒板、LANなどのICT環境が整備され、実証事業が開始された。当初は、混乱もあったが、研究を重ねていく中で、ICTの知識はあるが授業のノウハウに乏しい若手教員、授業のノウハウはあるがICTの知識が不十分なベテラン教員のコミュニケーションが図られ、お互いの不足部分を補うことができる、支援ソフトの導入によって作業時間が短縮され、生徒とふれ合う時間が増える、また、生徒においては、学力テストでは全ての教科で全国平均を上回るなど、先生児童ともに著しい成果をあげていた。

■広島県福山市『まちづくりパスポートについて』

まちづくりパスポート事業は地域活動やボランティア活動への参加を通じて、地域や市政に対する理解や関心を高め、将来のまちづくりの主役として活躍できる、「自らのまちは自らがつくる」という意識の向上を図る目的として、平成 21 年度に事業開始された。小学生から大学生、またその家族を対象にしており、地域活動やボランティア活動へ参加することでポイントが支給され、公共施設の入場割引券、ばらの苗、映画の無料鑑賞券等と引き換えができる。子どもたちを中心に地域や市政への理解や関心が高まり、将来活躍できる人材の育成や協働のまちづくりに成果を上げていた。

